

令和2年度第1回碧南市子ども・子育て会議 会議録

日時

令和3年2月19日（金）午後2時00分から午後3時20分まで

場所

碧南市文化会館 3階大会議室

出席者及び欠席者

（1）出席委員

鈴木政枝、河原厚司、水野裕子、杉浦龍一、川隅義孝、長根麻里、南美紀、青木智子、杉浦晴太郎、鈴木忠義、久葉幸子、栗並えみ、鈴木理絵、渡部努（委員兼アドバイザー）

（2）欠席委員

板倉尚子、岡田真美、岡本衛彦、宮崎哲也、切江泰仁、山村孝幸

（3）事務局職員

福祉こども部長 杉浦秀司、こども課長 村松幸雄、こども課指導主事 伊藤寛美、こども課指導保育士 杉浦淳子、こども課課長補佐 石井香代、こども課幼保係長 磯貝浩、こども課育成支援係主事 鈴木曜、福祉課発達支援係長 鈴木信恵、健康課母子保健係長 羽佐田美和子

傍聴者 なし

議題

- （1）令和2年度碧南市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について
- （2）令和3年度の保育園・こども園・幼稚園・児童クラブの申し込み状況について
- （3）その他

議事要旨

- 1 委員委嘱について（令和2年7月1日付）
- 2 会長の選任について 会長 鈴木政枝
職務代理者 水野裕子
- 3 あいさつ（鈴木会長）

4 自己紹介（名簿にて）、会議の成立

5 議事

（１）令和２年度碧南市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について

事務局が資料に基づき、新型コロナウイルス感染症の影響に触れながら説明した。委員からの意見・質問は無し。全員挙手により承認された。

（２）令和３年度の保育園・こども園・幼稚園・児童クラブの申し込み状況について

事務局が資料に基づき、新型コロナウイルス感染症の影響に触れながら説明した。委員からの意見・質問は無し。全員挙手により承認された。

（３）その他 なし

（４）その他 自由意見

< A委員 >

子育て短期支援事業（ショートステイ・トワイライトステイ）は、実績なしの状況が多く見受けられる。しかし、緊急時の対応ができるよう、また子どもおよびその家庭の福祉向上を図る上でも、今後も実施していくべき事業だと思う。

< 渡部委員兼アドバイザー >

碧南市は、子ども・子育て支援事業において、十分な支援ができていると見受けられる。必要な支援というと、量的支援と質的支援という２つの側面がある。量的支援については、数字ということで十分な支援がなされていると思う。しかし、問題は支援が必要な人に必要な支援が届いているかという点である。調査となると量的支援が重要視されるが、必要な人に必要な支援が届いているかという個別な知見も大切にし、今後も支援を続けてほしい。

また、子ども・子育て支援の大きな柱の一つとして、保育園・こども園・幼稚園での保育がある。低年齢児の保育ニーズの増加は、全国においてみられる。政府においては新たに「子ども安心プラン」を打ち立て、その中でも「女性の就労支援」を掲げている。今後も、より一層の低年齢児の保育ニーズの増加が予想される。碧南市では、待機児童がゼロであるが、今後も政府の動向を見ながら支援の対応を行ってほしい。

もう一点は、保育の質を上げていくという観点で、厚生労働省でいろいろと検討がされている中ではあるが、保育士が子どもと関わらない時間「ノンコンタクトタイム」の確保が保育の質を上げる上で、大きな鍵となってくると考えられて

いる。それをどのように確保していくかが課題である。

そこで、資料P. 17に説明のあった「保育アシスタント」を活用し、保育の質の向上をしていく必要がある。

〈事務局〉

渡部氏の提言にあった通り、保育アシスタントが使いやすくなるような制度改革がなされる予定である。いただいた意見を参考にしながら、碧南市の今後の施策に反映をさせたい。また、今年度においては数値がいつになく変動をしている。どこまで新型コロナウイルス感染症の影響が出ているかというのは、今後の検証評価になってくると思うが、その評価を次の保育行政に繋げていきたい。